

5 進捗状況

基本目標1 人づくり・基盤整備



①環境教育・環境学習

環境保全活動を促進するためには、市民一人ひとりが取り組むことの必要性を理解するとともに、必要な情報を入手できる環境を整備する必要があります。今後も子どもへの環境教育や市民への情報提供、学習機会の提供などを継続的に実施します。

②環境コミュニケーション、活動の支援

環境保全活動を実施しやすくするため、参加機会の充実、活動資金やノウハウ提供など、必要な支援を実施していきます。

環境 テーマ	指 標	基準値 平成30年度	目指す 方向	進 捗 状 況			達 成
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
① 環境教育・環境学習	小中学生の環境にやさしい生活の達成率 (エコライフチェックシート)	69.4%	↗	71.9%	72.1%	71.1%	☀
	環境関連講座等参加人数(市民環境講座、リサイクル体験教室参加者数などの合計)	5,071 人	↗	1,399 人	2,854 人	2,575 人	☂
② 環境コミュニケーション、活動の支援	エコポイント制度年間利用者数	522 人	↗	394 人	373 人	471 人	☂
	アダプトプログラム年間活動者数	16,829 人	↗	15,186 人	16,267 人	13,802 人	☂

※指標の基準値から進捗状況の実績値への数値の変化を以下のように示しています。



基準値から実績値への変化が目指す方向と一致している指標



基準値から実績値への変化がない指標



基準値から実績値への変化が目指す方向と一致していない指標



市民意識調査が実施されていないことにより、達成状況が判定できないもの

環境フェア等イベントの実施

①環境教育・環境学習

【 施策説明 】

こまき環境市民会議への委託事業として、イベントの実施を通じ、環境について学習する機会を提供する。

●取組・実績

「2024 いきいきこまき」内での共同開催として、11/16（土）に中央図書館イベントスペース及びにぎわい広場にて環境フェアを開催し、マイバッグ作りや丸太切り、市内の川に生息する生きものの展示等を行い、環境学習の機会を提供した。



（生きものの展示）

アダプトプログラムの活動促進

②環境コミュニケーション、活動の支援

【 施策説明 】

市内の道路や河川等を市民等が里親となって愛情と責任をもって定期的に清掃し、環境美化に対する意識の高揚を図り、市民と市の協働による環境美化を推進する。

●取組・実績

市民、事業者に対し、広報やホームページにより参加をよびかけた。

登録団体数 47 団体・個人 4 人、年間活動者数 13,802 人



（アダプトプログラム活動）

その他の取組

テーマ	事業	内容
①環境教育・環境学習	学校版 EMS の推進	学校における環境改善活動の一助として学校版 EMS を充実し、環境によい学校づくりに取り組む意識の啓発を行う。 ➤ 令和 6 年度に認定期間を見直し、11～1 月にかけて 8 校の現地調査を実施した。
	食を通じた環境教育	6 月の食育月間に併せて、食育に関する普及啓発を実施する。 ➤ 6 月と毎月 19 日の食育の日に併せて市役所本庁舎にてフードドライブ事業を実施し、食育に関する普及啓発を行った（寄付人数:35 名）。
		学校給食を通して市内で作られている農作物に関心を持ち、自然の恵みや栄養価の摂取、食料の生産・流通・消費について理解を深める。 ➤ 小牧の食材を学校給食で提供した（通年）。 ➤ 9 月及び 1 月に家庭配布用献立表に小牧の食材を掲載し、保護者及び児童生徒に周知した。 ➤ 9 月～11 月に応募献立を実施し、児童生徒に食の関心を持たせた。 ➤ 11 月の「愛知を食べる学校給食週間」及び 1 月の「全国学校給食週間」において、クラス掲示用ポスターで小牧の食材を周知した。

テーマ	事業	内容
① 環境教育・環境学習	環境教育の推進	市内各保育園で園児を対象に、ごみの分別など、環境に心がけた生活を学び、環境保全の大切さを伝える。 ➤ 日々の保育の中で、ごみの分別等を園児と一緒に実践した。
		児童を対象として環境学習を推進する。 ➤ 小学4年生を中心に総合的な学習時間において、環境学習を実施した。 ➤ 川の水質調査や里山保全活動等の体験活動を実施した。 ➤ リサイクルハウスの施設見学及びプラザハウスの紙すき体験教室を実施した(市内小学校計7校504人、その他3団体87人)。
	環境関連講座の充実	環境関連の市民講座や出前講座、体験教室等の企画・提供により、環境啓発を図る。 ➤ 親子向け市民環境講座「パソコン分解教室」を開催した(7/27 12組31人参加)。 ➤ プラザハウス常設体験教室を実施した(紙すき9人、サンドブラスト70人、とんぼ玉作り18人参加)。 ➤ プラザハウス特別体験教室を実施した(426人参加)。 ➤ 市主催のイベントにリサイクル関連の体験教室を出展した(バラ・アジサイまつり578人、いきいきこまき18人参加)。
	体験活動の場や機会の提供	自然観察を通して、心豊かなこどもの成長を図る。 ➤ 「兒の森 里山自然体験」を開催した(全6回 30人受講)。 ➤ 自然観察学習講座「身近な里山の自然観察」を開催した(7/7 12家族、11/10 11家族受講)。 ➤ 自然観察学習講座「大山川の自然観察」を開催した(9/8 11家族受講)。 ➤ 「兒の森クイズラリー」を開催した(10/6 9家族受講)。
② 環境コミュニケーション、活動の支援	環境保全活動へのエコポイント付与	毎月1回(8月を除く)市内3小学校(小牧・光ヶ丘・小木)で廃食用油の回収を行い、持参者にエコポイントを発行することで、環境保全の意識の向上を図る。 ➤ 7,314pt 発行した(延べ471人参加、廃食用油731.4L回収)。
	活動団体の設立支援	市民活動団体設立を目指す方の相談支援を行う。 ➤ 環境保全に取り組む団体として新たに1団体を登録した。

評価

小中学生の環境にやさしい生活の達成率については、前年度よりも下がっているものの、基準値より高い数値となっていることから、こどもたちの環境に対する意識が徐々に浸透していると考えられる。一方、その他の指標については、いずれも基準値に達しておらず、アダプトプログラムの年間活動者数など市民が対象となる活動については減少傾向にあることから、幅広い世代が環境について学ぶ機会を充実させ、様々な方法により環境関連の情報を広く発信するとともに、環境保全活動の拡大に向けた支援や情報共有が重要である。